



## アルファベット以外の文字

下表は、Adobe InDesign で組版サポートされている、各言語に必要なアクセント記号つき文字の一覧です。グレー文字は「基本ラテン・ラテン1」、青字は「拡張ラテンA」に含まれます。書体を決めるとき、該当言語に必要なグリフがあるか必ず確認をしましょう。

| 記号 | 呼び方       | 記号 | 呼び方     |
|----|-----------|----|---------|
| ´  | アキュート     | ˘  | マクロン    |
| ¨  | ダブルアキュート  | ˇ  | ブリーブ    |
| `  | グレイブ      | ˚  | リング     |
| ˙  | ウムラウト     | ˙  | オーバードット |
| ˜  | チルダ       | ¸  | セディラ    |
| ˆ  | サーカムフレックス | ¸  | アンダーコンマ |
| ˘  | カロン       | ¸  | オゴネク    |

| 言語名     | グリフ   |
|---------|---|
| イタリア語   | Àà Èè Éé Ìì Òò Ùù                                     |
| エストニア語  | Ää Öö Õõ Šš Üü Žž                                     |
| オランダ語   | なし  |
| カタロニア語  | Àà Çç Èè Éé Īī Ľļ Òò Óó Úú Üü Íí                      |
| クロアチア語  | Čč Ćć Đđ Šš Žž  |
| スウェーデン語 | Ää Åå Öö  |
| スペイン語   | Áá Éé Íí Ññ Óó Úú Üü                                  |
| スロバキア語  | Áá Ää Čč Ďď Éé Íí Ĺĺ Ľľ Ńň Óó Ôô Řř Šš Ťť Úú Ýý Žž    |
| スロベニア語  | Čč Šš Žž  |
| チェコ語    | Áá Čč Ďď Éé Ěě Íí Ńň Óó Řř Šš Ťť Úú Ůů Ýý Žž          |
| デンマーク語  | Åå Ææ Øø  |
| ドイツ語    | Ää Öö ß Üü  |
| トルコ語    | Ââ Çç Ğğ İı Öö Şş Ūū Üü                               |
| ノルウェー語  | Åå Ææ Øø  |
| ハンガリー語  | Áá Éé Íí Óó Öö Őő Úú Üü Űű                            |
| フィンランド語 | Ää Öö   |
| フランス語   | Àà Ââ Çç Éé Èè Êê Ëë Īī Îî Ôô Œœ Ùù Úú Üü             |
| ポーランド語  | Ąą Ćć Ęę Łł Ńń Óó Śś Źź Żż                            |
| ポルトガル語  | Àà Áá Ââ Ãã Çç Èè Éé Êê Ìì Íí Īī Òò Óó Ôô Õõ Ùù Úú Üü |
| ラトビア語   | Āā Čč Ēē Ģģ Īī Ķķ Ļļ Ņņ Ŗŗ Šš Ūū Žž                   |
| リトアニア語  | Ąą Čč Ęę Èè Įį Šš Ųų Ūū Žž                            |
| ルーマニア語  | Ăă Ââ Îî Șș Țț * [Șș] [Țț] は「拡張ラテンB」に含まれる文字           |

参考文献：The Chicago Manual of Style 16th Ed.、[The Elements of Typographic Style] (Robert Bringhurst 著)、  
[タイポグラフィハンドブック] (小泉均 著)、[世界の文字の図典] (世界の文字研究会 編)

# 欧文組版の考え方

## 文字／単語のとらえ方の違い

和文組版に慣れている方が、欧文組版に取組むときに、まず念頭に置かなければならないことは、組版のしくみの違いです。

和文組版では、基本的に図1のような四角い仮想ボディを持つ文字を、前に送っていきながら配置していく考え方をしています。

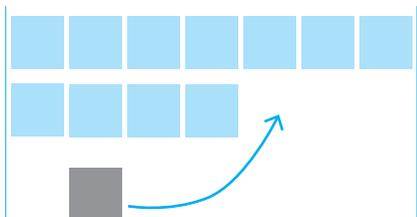


図1

文字単位で揃えていく組版ですので、行末を揃えやすく、多くの場合「箱組み」が採用されます。和文組版は、「文字」単位で組版を考える仕組みを持っているといえます。

欧文組版の場合は、和文のように一文字単位で考えることはありません。和文の一文字単位にあたる

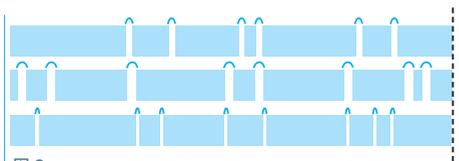


図2

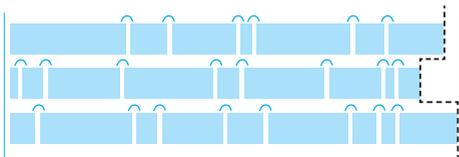


図3

ものは「一単語(ワンワード)」です。たとえば「」のように一文字であっても、一単語として考える感覚が必要になります。

各単語間には1スペースが入ります。このスペースの間隔はすべて同じになればよいのですが、「箱組み(ジャスティファイ)」を採用した場合、図2のように単語間隔(ワードスペース)が行ごとに違うものになります。ラグ組み(アンジャスティファイ)の場合は、ワードスペースは均等になりますが、その行が含む単語の長さに行末が大きく影響を受けます(図3)。そのため、行末が行によって不揃いになります。

欧文組版は、箱組みの「ワードスペース」、ラグ組みの「行末」の不揃いが、読み手の邪魔をしないように整えていく作業ともいえます。

「読み手の邪魔をしないワードスペース」を整えるためには「ジャスティフィケーション」の設定が重要になります。また、「読み手の邪魔をしない行末」の調整のためには、「ハイフネーション」の設定が重要です(逆に言えば、この2つの設定を行っていない欧文組版は「欧文組版をしている」とは言いえないでしょう)。

そして、もうひとつ重要な考え方が「行単位」で組版するか、「段落単位」で組版するかです。

和文の考え方では、図4のように「行単位」で組版を考えていきます。これは、欧文組版でも有効ではありますが、欧文組版では、文字ではなくスペース部分を調整していくことが重要ですので、図5のように、「段落単位」で組版を考えることが、より効率的になります。たとえば、「2行目のワードスペースを整えるために、1行目のワードスペースをツメて2行目の先頭の単語を1行目の行末に入れる」と考えるのではなく、「段落全体を見渡し、一番ワードスペースの広いところとせまいところを見つけ、その間の行を少しずつ調整し、

段落全体の行で助け合って調整」して、読者の邪魔にならないワードスペースを作るように努めます。

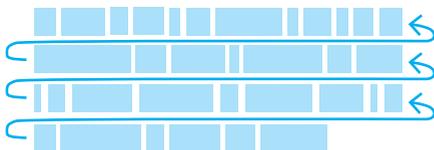


図 4

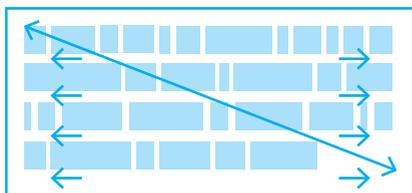


図 5

## ハイフネーション

欧文組版で、最も重要な作業が「ハイフネーション」の設定です。ハイフネーションは、行末で単語を分け、2行にまたがって組版することで、日本語では分綴ともいいます。

In our *eco + waza* magazine that will go on sale on July 20, we are scheduled to have a special feature on Tohoku products from Aomori, Iwate, Miyagi, and Fukushima prefectures. We want to introduce many products, and the stories and values behind them, to the world and contribute to the disaster area by serving as a bridge between it and the rest of the world.

ハイフネーションを、「どこで切ればよいかかわからない」という理由で、「ハイフネーションをしない」という選択をしている欧文組版を、日本ではよく見かけます。

この選択は、欧文組版としては正しい選択とはいえません。ネイティブの人たちから見れば「ハイフネーションをし忘れている」と思われてしまいます。

## pre·fec·ture

ハイフネーションは、上記のように音節によって区切られる箇所のみ入ります。この場所は、一般的な英語辞書に掲載されています。また、InDesignなどの組版アプリケーションには、ハイフネーションの辞書が搭載されていますので、正しく設定をして使えば、とても有効です。英語では『New Oxford Spelling Dictionary』などハイフネーション専用の辞書も販売されています。これらの辞書では、ハイフネーションの優先順位も表記されています。

ハイフネーションを使用するために、組版の最初に次の7つの設定を決めておくといでしょう。

1. 何行まで続けて入れてOKとするか
2. 単語頭／末尾は何文字から入れるか
3. 何文字の単語から入れるか
4. ラグ組みの場合、行末のどの範囲から入れるか
5. 段落末には入れるか
6. 段間末には入れるか
7. 大文字はじまりの単語には入れるか

1. 何行まで続けて入れてOKとするか
  - 一般的には、3行までが許容範囲とされています。4行以上も続けて行末にハイフネーションがされていると、だらしのない組版の印象を与えてしまいます。2行までを基本として、やむを得ない場合に3行まで続けていれる、という設定を基本に考えるとよいでしょう。

## 2. 単語頭／末尾は何文字から入れるか

### an·oth·er play·ed

上記の場合は、単語頭／末尾ともに2文字目からハイフネーションを入れることが可能です。しかし「2文字から入れる」と短くこまごまハイフネーションされてしまうケースが増え、読みづらくなりますので、前後「3文字から入れる」を基本にして、例外的に2文字を許可する設定にするとよいでしょう。

ただし、スピード感を持って作業を進める必要がある場合や、組幅が狭く単語間隔の調整が難しい場合は、「2文字から入れる」としてもよいでしょう。

## 3. 何文字の単語から入れるか

### of·fice af·ter

単語を構成する文字数による設定をします。あまり短い単語はハイフネーションをしないほうがよいので、5文字または6文字の単語からハイフネーションさせるとよいでしょう。

4. ラグ組みの場合、行末のどの範囲から入れるか  
ラグ組みの場合、行末の版面から何mmの範囲でハイフネーションを許可させるか、という目安をつけておくと、行末の不揃いをほどよいものにさせる助けになります。

5. 段落末には入れるか

6. 段間末には入れるか

7. 大文字はじまりの単語には入れるか

上記3つについては、基本的には入れないようにするとよいですが、欧文組版はその行の単語の長さに左右されますので、場合によっては、ハイフネーションせざるを得ない場合があります。5. 6. については、ワ

ードスペースまたは行末のアキ具合とのバランスをみながら、適宜判断をしましょう。7. については、固有名詞の場合は初出のハイフネーションを避け、2回目以降は、ハイフネーションを許可するというルール設定などが考えられます。

固有名詞のハイフネーションには、注意が必要です。特に日本語の固有名詞の場合は、正しい母音で区切れていることを必ず確認しましょう。

Toyota ×Toy-ota  
Marunouchi ×Marun-ouchi  
Mitsubishi ×Mit-subishi

また、「Japanese」という単語には要注意です。「Jap-」でのハイフネーションは、辞書では正しい位置ですが、「Jap」という言葉は差別用語ですので、ここでのハイフネーションは避けましょう。辞書を確認せずに「Japan-ese」とハイフネーションしている例もときどき見かけますが、これは間違いです。「Japa-nese」でのハイフネーションを心がけましょう。

欧文組版では、組版が終わったあとには必ず「行末の確認」をします。これは、ハイフネーションに問題がないかを確認するためです。この「行末の確認」はとても大切な作業です。きれいな組版の実現のために、習慣づけるようにしましょう。

## ジャスティフィケーション

「箱組み(ジャスティファイ)」で欧文組版をする場合には、必ず「ジャスティフィケーション」を設定します。これは QuarkXpress や InDesign などの組版アプリケーションには必ず搭載されている重要な機能です。

余白や文字サイズなどにより、フォントが持つ本来スペーシングでは文字間／単語間のバランスが悪い場合があります。ジャスティフィケーション設定を使い、ちょうどよいスペーシングに設定することが大切です。

調整は、段落最後のジャスティファイされていない行を目安にししながら、そのワードスペースと、ジャスティファイされている行とのワードスペースのバランスを見て調整していきます。

Tom gave up the brush with reluctance in his face, but alacrity in his heart. And while the late steamer Big Missouri worked and sweated in the sun, the retired artist sat on a barrel in the shade close by, dangled his legs, munched his apple, and planned the slaughter of more innocents.

このままでは、一番最後の行とその前の行のワードスペースの差があまりすぎる。また全体にレタースペースが少し広い。

Tom gave up the brush with reluctance in his face, but alacrity in his heart. And while the late steamer Big Missouri worked and sweated in the sun, the retired artist sat on a barrel in the shade close by, dangled his legs, munched his apple, and planned the slaughter of more innocents.

バランスよくなるように調整した欧文組版。

## イタリック

欧文組版の本文組みでは、必ずといってよいほどイタリックを使用します。和文組版で使う書体には「ひらがな」「カタカナ」が必ず揃っているように、欧文組版の本文組みでは「ローマン」「イタリック」が揃っている書体を選ぶようにしましょう。イタリックは、強調、CD アルバムタイトル(曲名はローマン体で引用符で囲う)、美術などの作品名、映画タイトル、書籍名、雑誌名、新聞名、外国語、小説などの過去の回想シーンや手紙の内容などの表記に使われます。

ローマン体をアプリケーションの「歪み」機能で傾けてイタリックの代用にするのはやめましょう。

## ○ Typography

## × Typography

上記のように、正しいイタリック(上)と「歪み」によるイタリック(下)では、まったく異なることがわかります。「歪み」によるイタリックは、欧文組版では、とてもだらしなく、品のない組版になってしまいます。

The song is “Happy” from  
曲名は引用符で囲う  
**Girl by Pharrell Williams.**  
CD アルバムタイトルはイタリック

Leonardo da Vinci’s **Mona Lisa**  
作品名はイタリック  
and **The Last Supper**  
作品名はイタリック

I read it in **Time** magazine  
雑誌名はイタリック  
and in the **Wall Street Journal.**  
新聞名はイタリック

“Do you know the expression  
**Nasake wa hito no tame narazu?**”  
外国語はイタリック

# 欧文組版の手法

## 組み方向

欧文組版では、「箱組み」「ラグ組み・左揃え」「ラグ組み・右揃え」「センタリング」「両端揃え」の5つの組み方向での表現が可能です。

組み方向の選択に迷った場合は、伝える内容を意識して、次のように考えると効果的になります。

### 〈箱組み〉

Tom gave up the brush with reluctance in his face, but alacrity in his heart. And while the late steamer Big Missouri worked and sweated in the sun, the retired artist sat on a barrel in the shade close by, dangled his legs, munched his apple, and planned the slaughter of more innocents.

左右版面に均等に流し込み、最終行のみ左揃えになる組み方です。小説、エッセイ、記事などの読み物に適しています。特に一般書籍のようにページ数の多い読み物では、読者が組版を意識することなく、内容に集中できる組み方といえます。ただし、9～11ページで記述しているように正しいハイフネーション／ジャスティフィケーションの設定をし、単語間隔の白みのバランスを整え、読者の目が止まらないように組版する必要があります。また、アプリケーションの設定ミスによる不自然な文字間隔のアキも避けなければなりません（アプリケーションの設定については26ページ以降を参考にしてください）。

### 〈ラグ組み・左揃え〉

Tom gave up the brush with reluctance in his face, but alacrity in his heart. And while the late steamer Big Missouri worked and sweated in the sun, the retired artist sat on a barrel in the shade close by, dangled his legs, munched his apple, and planned the slaughter of more innocents.

テキストを左揃えにし、行末は成り行きで改行される組み方です。組版全体にリズムを持たせたいときには、行末にできる白スペースの動きがその助けをします。また箱組みでは単語間の白みの調整が難しいとき、たとえば、版面を2段組みにした場合などの組幅が狭いコラムでこの組み方を選択するのもよいでしょう。

よく、「ハイフネーションしないで、ラグ組みにすれば楽だし、間違いも少ない」という声を聞くことがあります。しかし、そのような組版では、行末の白みのバランスが悪くなり、ある行とある行での白みのバランスが全然違う、という現象が起きてしまいます。ラグ組みのときには、全体の紙面、組幅の長さ、テキストの黒み、後述するインデントの幅に対して、バランスよく行送りが必要があります。ハイフネーション挿入を許可する単語のスタート位置の範囲（上図の「n」値）を決めて目安にするといでしょう。

奇をてらってわざとガタガタ感を出すという考え方は、遠目にデザイン的にみると面白いのかもしれませんが、実際に読んでみると、可読性が低下しています。行末はほどよいなめらかな不揃い感を心がけるようにしましょう。

## 〈ラグ組み・右揃え〉

“Design is a funny word.  
Some people think design  
means how it looks.  
But of course, if you dig deeper,  
it’s really how it works.”

—Steve Jobs

上記組版サンプルのように、引用文、広告などのキヤッチコピーを右揃えに組版すると、特別なものであることを強調する役目をします。読み手は、右揃えで組版されているところは、「何か大切なことが書いてある」と自然に意識することになるでしょう。

右揃えは、読み手に着目するように促す役目や、機能的に紙面を使う手法としての効果が期待できます。

## 〈両端揃え〉

**BOHEMIANS  
BOOTLEGGERS  
FLAPPERS  
& SWELLS**

両端揃えで書籍タイトルを組版した例です。両端揃え組版ではひとつのスタンプのようにまとまったイメージの表現が可能です。同書体のウェイトを効果的に選択し、文字の黒みが不揃いにならないよう注意します。また、ときには文字に長体・平体をかける必要もあります。その場合は、文字の形や黒みのバランスが崩れないよう繊細な注意が必要です。

(上記例は書籍『Bohemians, Bootleggers, Flappers, and Swells: The Best of Early Vanity Fair / Penguin Press』のタイトル文字を本書用にアレンジしたものです)。

## 〈センタリング〉

EDUCATION.  
HEALTH.  
JUSTICE.

FOR EVERY GIRL.

A Font of Type

This latent mine—these unlaunch’d voices—passionate powers,  
Wrath, argument, or praise, or comic leer, or prayer devout,  
(Not nonpareil, brevier, bourgeois, long primer merely.)  
These ocean waves arousable to fury and to death,  
Or sooth’d to ease and sheeny sun and sleep,  
Within the pallid slivers slumbering.

上記1つ目の組版サンプルは、キャンペーンポスターのキヤッチコピー例です。欧文では、1ワードで強い意味を持つことができるため、センタリングは確実に読み手に注目させます。2つ目はホイットマンの詩集『草の葉』の一編です。センタリングにより文章全体の組版の形に収束や発散の動きを持たせることもできるため、その文章に読み手をワクワクさせる動きを与えることができます。ただし、改行位置には注意が必要です。組版する言語について適切な改行位置が見つけられない場合は、その言語専門の校正者に校正依頼をすることも大切です。

書籍カバーのタイトルまわりなどでは、欧文組版の場合でも和文組版と同様の効果を期待することができます。

欧文書籍では、Titleページの次ページに「コピーライトページ」が入ります。コピーライトについて記載している、特に読者には興味のないページですが、ここをセンタリング組版にして動きをつけることで、なんでもない情報に刺激を与え、読者の興味を一瞬引くことができます(ただし、コピーライトページは日本の奥付同様に出版関係者にとっては重要な情報のページです)。

## 文字揃え／行送りの基準

欧文では、「文字揃え(下図)／行送りの基準(右図)」は欧文ベースラインになります。日本語用組版アプリケーションでは、「仮想ボディの上／中／下」「平均字面の上／下」「欧文ベースライン」と6種類ありますが、英語版やその他欧米諸国での組版アプリケーションでは、選択をする必要もなく自動的に「欧文ベースライン」になります。

- × ボディの上 **Typography**
- × ボディの中央 **Typography**
- ベースライン **Typography**

## 欧文合字(リガチャ)

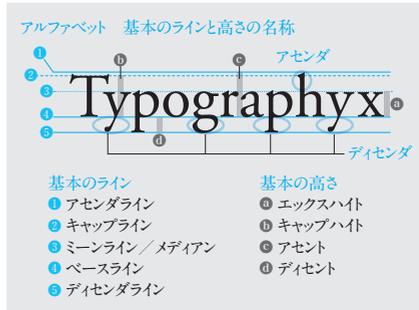
欧文では、「f」と「i」や「f」と「l」が隣合ったときに、文字同士の重なりが不自然になり、可読性が損なわれてしまうことがあります。

fi fl

これを解消するために、欧文合字(リガチャ)があります。下記の5つについては、必ず欧文合字をする必要があり、ほとんどの書体で合字のグリフが用意されています。

**Office off finance**  
**flower affluent**

最近では、これ以外にも「f」と「l」、「f」と「b」などの合字が用意されている場合があります。欧文組版では合字は必ずします。組版を流しっぱなしにしていると、字間／単語間の未調整により合字が外れてしまう場合がありますので注意が必要です。サンセリフ\*書体では、文字がぶつからない書体デザインであるため、合字が用意されていない場合もあります。



## 組幅／段組み

組幅が広すぎて可読性が損なわれてしまうのは、和文でも欧文でも同じです。欧文組版では、長くて13~16ワード程度までと考えられます。1行がそれ以上長くなってしまふ場合は、段組みの設定をして、1行のワード数が多すぎないようにする処理が必要です。

## 文字サイズ

欧文組版では、一文字一文字読まれるのではなく、1単語の形を追って読まれていきます。欧文組版での文字サイズは、見え方としては和文よりもやや小さめで大丈夫です。逆に和欧併用表記で元の欧文に合わせて和文サイズを決める場合は、和文が小さくなりすぎないように注意が必要です。

\*サンセリフ  
和文の明朝体にあたる書体を「セリフ書体」、ゴシック体にあたる書体を「サンセリフ書体」と呼びます。

**flower** **flower**  
セリフ書体 サンセリフ書体

## 字間 (レタースペース)

本文テキストのように、長文を読ませる欧文組版でのレタースペースは基本的に「ベタ」になります。ただし、ここでいう「ベタ」は和文の「ベタ」とはニュアンスが異なり、「その書体が持つ正しいカーニング値に基づく組版」となります。和文でいう「プロポーショナルツメ」の考え方に相当します。

信頼のあるフォントメーカーから販売されている書体は、このレタースペースが、流し込みをしたときに自動で美しく並ぶようにベアカーニングが設定されていますので、それを正しく活かすように組版アプリケーションの設定をする必要があります。

また、小文字や大文字小文字で組版する場合は、むやみにレタースペースを開けてはいけません。前述のように、欧文組版では、1文字ずつ読むのではなく、単語の形で読むものです。ですから、この形を壊してしまう組版は避けなければなりません。

大文字だけ、または小型大文字 (Small Caps) だけで組版する場合は、「単語の形」という概念がなくなくなります。この場合レタースペースを少しゆるめに調整すると、可読性が増します。また、質のよい書体であっても、販売された時期などにより、大文字 / Small Caps 同士のベアカーニングが設定されていない場合もあります。大文字 / Small Caps のみで組版する場合は、個々のレタースペースに気を配りましょう。

- Stay hungry, stay foolish.
- ✕ Stay hungry, stay foolish.

大文字小文字では、レタースペースをむやみにあけない。

- △ STAY HUNGRY, STAY FOOLISH.
- STAY HUNGRY, STAY FOOLISH.

大文字だけ、Small Caps だけの場合は、少しレタースペースを開くと可読性が増します。

## インデント

一般的な読み物の場合、本文では第1段落目はインデントをせず、2段落目からインデントを開始します。また、最近の和文組版では、一文字下げをしない組版が人気がありますが、欧文では、複数段落で構成される本文では、2段落目以降は必ずインデントをします。インデントの代わりに1行アキにする場合もあります。これは、Web サイトや商品紹介の広告などでは効果的に利用できますが、書籍や会社案内など、読み手に信頼感を与えたい場合は、2段落目以降のインデントを必ずしましょう。

インデントの幅については、正しい数値としてのルールはありません。使用する書体、文字サイズと行間による黒みのバランス、行末処理の仕方などにより、そのバランスをより際立たせるインデント幅を見つけ、読み手が新しい段落だと意識しやすい幅になるように何パ

ターンかのサンプル設定をしてみましょう。その読み物にほどよい幅を見つけることは「欧文組版をする」大事な仕事のひとつとなります。

TOM WAS A GLITTERING HERO ONCE MORE—the pet of the old, the envy of the young.

As usual, the fickle, unreasoning world took Muff Potter to its bosom and fondled him as lavishly as it had abused him before.

Tom's days were days of splendor and exultation to him, but his nights were seasons of horror. Injun Joe infested all his dreams, and always with doom in

インデント例 1 ほどよいインデント幅になっていますが…

TOM WAS A GLITTERING HERO ONCE MORE—the pet of the old, the envy of the young.

As usual, the fickle, unreasoning world took Muff Potter to its bosom and fondled him as lavishly as it had abused him before.

Tom's days were days of splendor and exultation to him, but his nights were seasons of horror. Injun Joe infested all his dreams, and always with doom in

インデント例 2  
例1と同じインデント幅でも、行間が変わると印象が変わります。

## All Caps

単語を大文字だけで表示する方法はAll Caps (オールキャップス)といえます。

# JAPAN TOKYO

All Capsは、見出しや広告のコピーなどに使われますが、本文中にAll Capsで表記することはまれです。よく、日本から発信される欧文組版で、固有名詞をAll Capsで表記しているものを見かけます。突然

本文中にAll Capsでの表記が入ると、日本語の明朝体の本文の中に新ゴBで強調しているような強い印象になってしまいますので気をつけましょう。

× TENSHIN OKAKURA was among the students at TOKYO UNIVERSITY when it was first established in 1877.

1877年に東京大学が創立され、岡倉天心は入学した。

普通の本文のはずが、不自然な強調になってしまいます。

## Small Caps

欧文組版ではSmall Caps (小型大文字)を効果的に使うと、可読性を上げることができます。最近では、Small Capsは書体にセットとして含まれており、OpenType機能の一部として表示させることができる書体が多くあります。目的に合わせてSmall Capsの有無を確認してから書体を選ぶことも大切になります。

JAPAN TOKYO

JAPAN TOKYO

× JAPAN TOKYO

Small Capsは、上記のように、すべてをSmall Capsにする場合と、単語先頭文字だけを大文字にする場合があります。よく、擬似的Small Capsが使われている場合があります。これは、使用している書体がSmall Capsを持っていないときに、アプリケーションで70～75%程度縮小させて表示させる場合です。上記3段目の例がそうです。擬似的Small Capsでは文字がやせて黒みのバランスが悪くなっています。このような使い方は、稚拙なだらしのない欧文組版に見えてしまいますので、気をつけましょう。

## 数字

欧文組版の醍醐味を味わうひとつに、数字の種類を使い分ける手法があります。

欧文書体の数字は「ライニング数字」と「オールドスタイル数字」の2種類があります。ライニング数字は一般的に使われている数字と考えてよいでしょう。オールドスタイル数字は、アルファベットの文字の中に入っても自然に本文となじむよう、ディセンダやアセンダ(14ページ参照)に変化をつけた数字です。また、それぞれ等幅数字を持っている場合もあります。

ライニング数字

1234567890

オールドスタイル数字

1234567890

等幅ライニング数字

1234567890

等幅オールドスタイル数字

1234567890

本文などでアルファベットと一緒に使う場合は、オールドスタイル数字を使うと、可読性が損なわれず、なめらかな読み心地の組版になります。一方、数値を見せることが重要な書類や、桁を揃えて見せる必要がある場合は、等幅数字を使うと効果的です。

## ウイドウとオーファン

欧文組版において、ページの先頭行(段組みの場合)、その段の先頭行)に、その段落の最終行があふれてしまうことを「ウイドウ」といい、ページの最終行(段組みの場合は、その段の最終行)にその段落の第1行目だけが残ってしまうことを「オーファン」といいます。欧文組版では、この2つを避けて組版することが重要です。次の4つのポイントに気をつけましょう。

1. 冊子や書籍など長文の組版の場合はウイドウ／オーファンが発生することが多いため、以前のページに戻って調整・吸収ができるよう、組版はなるべく余裕を持って組んでおく必要があります。行末に一単語が残ってしまうことばかりを気にしてしまい、この解消ばかりを優先してしまうと、ウイドウ／オーファンを解消できないポイントがなくなってしまいますので気をつけましょう。

2. 組版者だけでの解消が難しい場合は、編集者などに相談をして、文章量の調整をしてもらいます。

3. ウイドウまたはオーファンのどちらかしか解消できない場合はウイドウの解消を優先します。実際にオーファンはOKとする編集ルールはよくありますが、ウイドウをOKとする方針はほとんどありません。

4. ウイドウがどうしても解消できない場合、そのウイドウの行が少しでも長くなるよう、その段落の単語間の調整をして、単語送りを調整します。

欧文組版では、「ウイドウ」「オーファン」「単語間」「行末の白みの調整(ラグ組みの場合)」「ハイフネーションの位置」など、いくつか配慮しなければならないポイントがあります。しかし、これらをすべて守った組版を実現するのが難しい局面が、実際の組版作業では多く発生します。そのような場合、状況ごとに何を優先すべきかを考え、読み手にストレスを与えない組版になるよう妥協点を見つけるのも、欧文組版作業のひとつといえます。

THE AUTUMN FESTIVAL IS HELD TO celebrate the harvest, much like Thanksgiving in the U.S. People make offerings to the shrine to show gratitude and enjoy the booths selling food and souvenirs. The ceremony commenced

mutual friends. ← ウイドウ

Everyone doubted whether the bride and groom would celebrate even one wedding anniversary, so no one was surprised when they divorced.

The son resisted showing his feel-

this catalogue all sound interesting. I think I'll try to order some on the Web.”

After the death of their precious son, the family was numb, then sad and upset. At the reception we exchanged each names, found we work in related fields, and discovered we had several

Luther King, Jr. Whether or not the current downturn is actually a recession is a matter of debate among economists.

During the boom, owners of several high-tech companies became extraordinarily wealthy.

Analysts estimate that the com- ← オーファン

## ハンギング(ぶら下がり)

和文組版同様に欧文にも「ハンギング」があります。ハンギングをしたほうが可読性はよいと思われませんが、現在、ハンギングなしに見慣れている人々も多く、賛否はさまざまです。組版する読み物についてどちらがふさわしいかを検討し、組版方針を決定します。

“Design is a funny word. Some people think design means how it looks. But of course, if you dig deeper, it's really how it works.”

ハンギングの設定をした場合

“Design is a funny word. Some people think design means how it looks. But of course, if you dig deeper, it's really how it works.”

ハンギングの設定をしない場合

# 欧文約物 (Punctuation)

## 句読点

欧文の句読点は、疑問符と感嘆符を除いて、「ピリオド」「カンマ」「コロンの」「セミコロン」「エリプシス」の5種類があります。ピリオドは文章の終わりや語句の省略を表します。カンマは、文章の区切りに使われます。また、ピリオド、カンマとも数字の桁区切りに使われますが、これは、国によって違いがありますので、注意が必要です。コロンは、その後に続く文章に対して「以下のように」という意味合いがあります。セミコロンは、それぞれ独立した文章(節)を接続詞を使わずに結びつける役割をします。コロンの後は1スペースを入れます。ただし、フランス語の場合は、コロンの前にも1スペースが入ります。エリプシスはいわゆる「3点リーダー」の役目をします。文章の最後にピリオドと一緒に4点で使う場合

はありますが、和文のように2つ続けて6点にする使い方はしません。また、点の高さはピリオドと同じ欧文ベースライン上になります。

You are advised to pack the following items:  
(a) warm, sturdy outer clothing, and enough underwear to last ten days; (b) two pairs of boots, and plenty of socks; and (c) three durable paperback novels.

Life must go on... Life must go on...

1,500.99

日本、アメリカ、イギリスなど

1.500,99

ドイツ、イタリア、スペインなど

1 500.99

フランスなど

## アポストロフィ

アポストロフィは一重の閉じ側と同じグリフを使うため、左右ともあると誤解されがちですが、閉じ側のみの1種類しかありません。

I'm here.

アポストロフィの役目は単語の省略を表わすことです。ネイティブが組版したもので、逆向きに組版され

- 'Cause I like 'em.
- × 'Cause I like 'em.
- I love '80s.
- × I love '80s.

ているものを見かけます。注意を怠りやすいところですので、必ず正しい向きにように心がけましょう。

「I will」→「I'll」、「I have」→「I've」など「主語+助動詞」の省略形以外での省略アポストロフィは数少なく、スラングを除くと英語では、下記に示す語句のみです。この機会に覚えておきましょう。

Because → 'Cause / 'Cos  
about → 'bout  
them → 'em  
till → 'til  
It is → 'Tis / It's

## 引用符

欧文組版において、和文組版の「 』』 の役割をする記号は引用符(クォーテーションマーク)といます。英語では、アメリカ英語の場合、二重引用符、一重引用符の順で使いますが、イギリス英語ではその逆になります。

フランス語とイタリア語ではギユメ(guillemets)、ドイツ語では逆向きのギユメまたは「あひるの足(duck feet)」と呼ばれる「ダブルロッククォーテーションマ

He said, “I’m here.”  
“He said, ‘I’m here.’”

アメリカ英語の場合の引用符

He said, ‘I’m here.’  
‘He said, “I’m here.”’

イギリス英語の場合の引用符

ーク」が使われます。スペイン語では、ギユメを使う場合とEmダッシュを使う場合、両方を混合して使う場合があります。ドイツ語やスペイン語のように引用符のタイプが2種類ある場合は、組版をする前に必ず編集ルールを確認するようにしましょう。

フランス語 « Qui es-tu ? »  
↑ ↑  
ややあける(1スペースよりも少しせまく)

イタリア語 «E chi sei tu?»

ドイツ語 »Wer bist denn du«  
,,Wer bist denn du“

—¿Quién eres Tù?—  
↑  
このみ1スペースあける  
«¿Quién eres Tù?»

### 引用符の種類と形

欧文組版で使用する引用符は、慣れていないと意外にややこしいものです。日頃からいろいろな欧文書体で、引用符の形を、カンマ、ピリオド、コロソ、セミコロソと一緒に確認しておきましょう。



！ ！！

上記のような、通称「まねけ引用符」と呼ばれる「正しくない」欧文引用符が使われていることがあります。最近では、この引用符は「半角引用符(ストレートクォーテーションマーク)」と呼ばれ、Webサイトや英語ニュースのテロップなどに使われています。しかし、新聞、一般書籍、パンフレット、その他の印刷物においては、読み手の信頼を得るためにも、正しい「英文引用符(タイポグラフィクォーテーションマーク)」を必ず使うよう心がけましょう。

## 疑問符／感嘆符

疑問符、感嘆符は、和文と同じように下記の記号が使われます。ただし、スペイン語においては、文頭にな上下逆の記号を使い文を挟んで表示します。

英語の場合 “What! You did?”

—¡Ay, perdón! —

—¿Quién eres Tù? —

## 括弧類

欧文組版で使用する括弧類は、和文のように豊富ではありません。

文章中におもに使用するのは、( ) (パーレン・丸括弧)、[ ] (ブラケット・角括弧)です。} } (ブレース・波括弧)が文章中に使用されることはありませんが、見出し的な要素で、数行分をまとめて囲むデザイン要素として使用することはあります。

## Enダッシュ／Emダッシュ

和文組版では「何時から何時」のような場合「から」に相当する記号は「～」を使いますが、欧文組版ではEnダッシュを使います。

- 1858-1960
- × 1958-1960
- × 1958~1960

また、和文組版の全角ダッシュに相当するものはEmダッシュです。よくハイフン2つ(--)を使用している組版をみかけますが、これはかなりひどい組版とみなされますので、必ずEmダッシュを使用します。Enダッシュで前後にスペースを入れて使用する場合もあります。

- “Shucks, I only meant you’d see ’em—not hopping, of course—what do they want to hop for?—but I mean you’d just see ’em—scattered around, you know, in a kind of a general way.
- × “Shucks, I only meant you’d see ’em—not hopping, of course—what do they want to hop for?—but I mean you’d just see ’em—scattered around, you know, in a kind of a general way.  
Emダッシュが和文書体になってしまっている例
- × “Shucks, I only meant you’d see ’em—not hopping, of course--what do they want to hop for?--but I mean you’d just see ’em--scattered around, you know, in a kind of a general way.  
Emダッシュがハイフン2つになってしまっている例

## 分散禁止スペース

欧文組版では、下記のように行末で泣き別れになってしまったり、必要以上にワードスペースがあくと読みづらくなる場合があります。その場合、「分散禁止スペース(No Break Space)」を使うと防ぐことができます。ただし、数字がthreeのようにスペルアウトされている場合は、泣き別れになっても問題ありません。

Chapter 3      May 31  
↑                    ↑  
このスペースを「分散禁止スペース」にします

## 脚注マーク

欧文組版で脚注を入れる場合、本文中に脚注があることを示す記号としては、アスタリスク(\*)、ダガー(†)、ダブルダガー(‡)を使います。脚注がたくさん入る場合は、3つのうちのどれか1つに印を決め、その印の後ろに番号をつけていきます>(\*1 \*2)。

脚注の内容は、巻末にまとめる場合とページの下部に入れる場合があります。どちらの場合も本文よりやや小さめの文字サイズになりますが、このときの組幅には注意が必要です。本文と同じ組幅では、1行の単語数が多くなり読みづらくなりますので、1行15～20ワードくらいの範囲で設定をする必要があります。

言語別の数字関連表記のまとめ(数字をスペルアウトしない例です)

| 言語     | 日付                 | 時間      | 数字            |
|--------|--------------------|---------|---------------|
| 日本語    | 2015年9月30日         | 14:30   | 12,345,678.99 |
| アメリカ英語 | September 30, 2015 | 14:30   | 12,345,678.99 |
| イギリス英語 | 30 September 2015  | 14.30   | 12,345,678.99 |
| フランス語  | 30 septembre 2015  | 14 h 30 | 12 345 678.99 |
| ドイツ語   | 30. September 2015 | 14.30   | 12.345.678,99 |

## コラム——日本人がうっかりやってしまいがちな欧文組版のミス

## ✕ 流し込んだだけの組版

What is a *toji*? ①

In Japanese the master brewer is called the *toji*. I knew that the *toji* plays an important role in the making of sake, but I wondered what his job actually was. Mr. Oikawa explained, "The *toji* takes responsibility for all of the techniques in sake making. He is like the manager of a baseball team or the chief chef in a restaurant." The *toji* decides everything, from the selection of materials to the sake-making schedule, the analysis and management of ingredients, and of course the taste and fragrance of the finished product. A *toji* requires many years of experience, because this work cannot be done without a thorough knowledge of the whole sake-making process. Mr. Oikawa decided that he wanted to become a *toji* at the age of 20, and it took him 13 years of diligent practice until he could gain independence as a master brewer.

The life of a *toji*

"Cold weather is best for sake making", Mr. Oikawa went on, "so every year we make sake here from November until the end of February". During this period Mr. Oikawa is very busy every day, getting up at 5 a.m. every morning and preparing the *moromi* (mash) before breakfast. Twice a day he stirs the *moromi* with a wooden paddle in order to stimulate fermentation, analyzes the ingredients, and prepares for the next day.

"In the past farmers engaged in sake making in the winter months when agricultural work was slack," Mr. Oikawa explained. "Many of them went on to become *toji*. I was one of them." Mr. Oikawa even now still goes back to Iwate Prefecture, from where he hails, every spring and engages in rice cultivation there. "I feel very free when I go back to Iwate and grow rice", Mr. Oikawa said. "What's more, by growing rice myself, I can get a good understanding of the quality of that year's rice harvest." And naturally he puts that knowledge to use in sake making.

- ① 正しいイタリック書体が使われていません。例はアプリケーションの「読み」機能でローマン体を傾けたもの。
- ② このピリオドの後は 1 スペース。  
この例では 2 スペース入っているため、アキが広すぎます。
- ③ 正しくない引用符が所々使われています。
- ④ レタースペースが不自然に開いていて、文章が読みづらくなっています。
- ⑤ 行末のハイフネーションを忘れていました。

## ○ 正しい欧文組版

What is a *toji*?

In Japanese the master brewer is called the *toji*. I knew that the *toji* plays an important role in the making of sake, but I wondered what his job actually was. Mr. Oikawa explained, "The *toji* takes responsibility for all of the techniques in sake making. He is like the manager of a baseball team or the chief chef in a restaurant." The *toji* decides everything, from the selection of materials to the sake-making schedule, the analysis and management of ingredients, and of course the taste and fragrance of the finished product. A *toji* requires many years of experience, because this work cannot be done without a thorough knowledge of the whole sake-making process. Mr. Oikawa decided that he wanted to become a *toji* at the age of 20, and it took him 13 years of diligent practice until he could gain independence as a master brewer.

The life of a *toji*

"Cold weather is best for sake making," Mr. Oikawa went on, "so every year we make sake here from November until the end of February." During this period Mr. Oikawa is very busy every day, getting up at 5 a.m. every morning and preparing the *moromi* (main mash) before breakfast. Twice a day he stirs the *moromi* with a wooden paddle in order to stimulate fermentation, analyzes the ingredients, and prepares for the next day.

"In the past farmers engaged in sake making in the winter months when agricultural work was slack," Mr. Oikawa explained. "Many of them went on to become *toji*. I was one of them." Mr. Oikawa even now still goes back to Iwate Prefecture, from where he hails, every spring and engages in rice cultivation there. "I feel very free when I go back to Iwate and grow rice," Mr. Oikawa said. "What's more, by growing rice myself, I can get a good understanding of the quality of that year's rice harvest." And naturally he puts that knowledge to use in sake making.

- ⑥ 欧文合字がされていません。
- ⑦ 本文中の数字であるにもかかわらず、ライニング数字を使用しています。
- ⑧ 約物ルールが間違っているアメリカ英語では、引用符がある場合、ピリオドやカンマは引用符の中に入ります。
- ⑨ 全角数字が混じり、書体がおかしくなっています。
- ⑩ a.m. などの省略記号は Small Caps が効果的です。
- ⑪ インデントがきちんととられていません。

# 併記組版の考え方

## 和文・欧文の配置

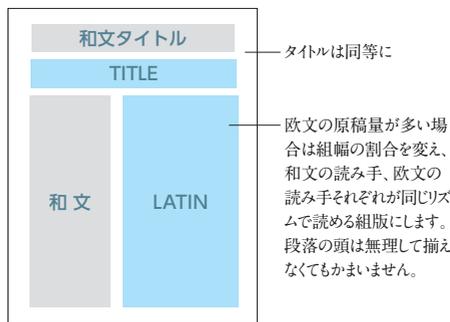
和欧併記で組版する場合、「和文と欧文の行間は揃えるか」などを先に考えてしまい、「正しいルールはなんだろう」と迷ってしまうことがあると思います。そんなとき、「この組版は誰のためのものか」を先に考えれば必然的に答えが見えてきます。「和文の読み手は日本語が母国語の人、欧文の読み手はその言語が母国語または第2外国語の人」と考えれば、一番大切なポイントは「左右を均等／行間統一」よりも、それぞれの母国語が読みやすく成立していることです。もちろんひとつの紙面上での2つの言語の配置バランスはデザインとして大切ですが、配置バランスを優先して、結果読みにくくなるのであれば、本末転倒ですね。

左右配置で考える場合、左側に読み手が多いと思われる言語を配置します。また、特別な狙いが無い限りは、和文は横組みにします。和文が箱組みの場合、欧文は箱組みでもラグ組みでも、読みやすいのであれば、問題はありません。本文組みで、欧文に合わせて、日本語を無理にラグ組みにする必要もありません。前述したように、各言語の読み手への読みやすさを優先して決めましょう。

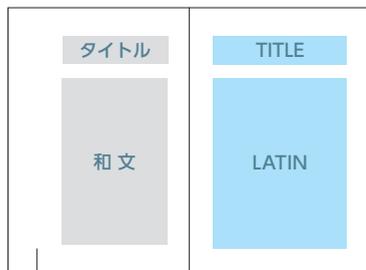
次に、原稿量の差があります。一般的に和文よりも欧文のほうが長くなる傾向にあります。原稿量が違うのであれば、必然的に紙面を占める割合も変わってきます。この割合を同じにしようとすると、欧文が小さくツメて組版され、読み手にとってはおそろかにされた組版という印象になってしまいます。

和文も欧文も同じように読み手に負担をかけないように組版しましょう。

### 配置の参考例(ペラもの場合)



### 配置の参考例(ページもの・見開きの場合)



欧文の原稿量が多い場合、和文の組幅をせましく、ほぼ同ページで展開していくようにします。

## 欧文・欧文の配置

異なる欧文言語で併記組版をする場合もあります。フランスやドイツの機内誌では、それぞれ英語と併記しているものがよくあります。欧文同士で併記する場合も、原稿量の違いの問題があり、たとえば、英語よりもドイツ語のほうが長くなる傾向にあります。欧文同士の併記でも、和文・欧文併記と同様、各言語の読み手に配慮した組版を心がけます。いくつかの配置の手法を紹介します。

### 1. 下揃えに配置

下揃えにして、高さの違いを出すことで、読み手に言語の区別がつくようにします。

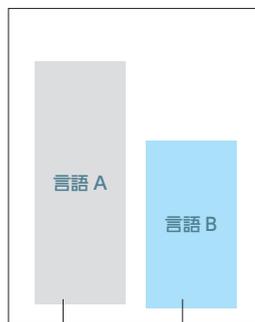
### 2. 書体を変えて配置

一方をセリフ書体、もう一方をサンセリフ書体に、または、同じ書体でウエイトを変えて、読み手に言語の区別がつくようにします。この場合、上揃え・左右バラレル併記でも読み手には言語の区別がつかます。

### 3. ページを変えて配置

あるセクションについて、たとえば、先にドイツ語で数ページ分そのセクションの本文を、続いて英語で同じく数ページ分そのセクションの本文を配置します。写真や図版は繰り返し掲載するのではなく、それぞれ1回ずつ、ドイツ語のページ、英語のページにほぼよく配置し、キャプションは上下に併記にする、という組版方法があります。この場合、本文書体は統一し、キャプションのみ変化をつける工夫が必要です。

### 配置の参考例

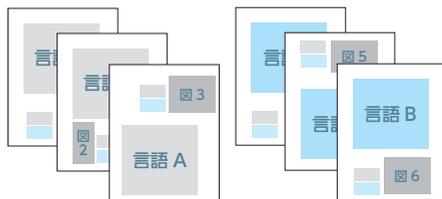


下揃えに配置することで、言語の区別が付きやすくなります。



書体またはウエイトを変えます。組幅を大きく変えている例もあります。

1セクションごとに各言語のテキストを  
完結させてレイアウトします。  
図版は全体にほぼよく配置。



# データの受け渡しとアプリケーションの設定

## Word原稿でのやりとりの注意点

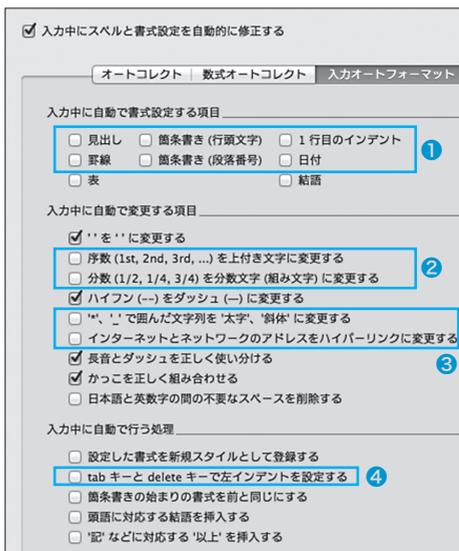
欧文組版の実務の中で、原稿は多くの場合、Microsoft Wordで支給されていると思います。

しかし、Wordのデフォルト設定では数多くのオートコレクト設定がなされており、これが本来あるべきシンブルな原稿形式に余計な属性をつけてしまい、組版者はその解除に苦勞することになります。

この無駄な作業を省くため、組版者はあらかじめ原稿作成者に下記のWordの設定を依頼しておくといでしょう。

1. インデントは、自動インデントを使用せず、「タブ」を手入力します。
2. 単語間のスペースの数は1スペース。ピリオドの後も1スペースにします。
3. 原稿は、左詰めに作成します。
4. 原稿作成中に「変更履歴の記録」を使用した場合は、組版者に原稿提出する前に「変更箇所の承諾」を済ませ、組版者がコメントや変更履歴の影響を受けないようにします。この作業はとても重要で、組版者がコピー&ペーストで流し込みをした場合、削除したはずのデータが変更履歴の記憶により流し込みの中に入ってしまうことがあります。
5. 改ページは、改行マークの連打ではなく、改ページマークの挿入をします。
6. (欧文にはあまりないケースですが)ルビがある場合はWordのルビ機能を使用せず、親文字の後に(ルビ:xxx)のように入力してもらい、その旨を組版者に連絡をします。
7. 段落後のアキは、必要なければ数値0にします。
8. 自動簡条書き機能は使わないようにします。使用した場合は、その旨を組版者に伝えてもらいます。

また、「環境設定」→「オートコレクト」の「入力フォーマット」について、下記のように一部設定の解除をしてもらい、余計な属性が入らないようにします。



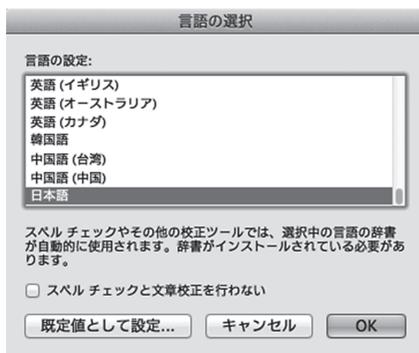
①では特に「1行目のインデント」「簡条書き」の属性が不要ですので外しておきます。②の序数は「1st、2nd」などが自動で「1<sup>st</sup>、2<sup>nd</sup>」となる機能です。欧文組版の場合本文で、このような表記はしませんので、チェックを外します。③では、印刷物の場合、ハイパーリンクは不要ですので、設定解除しておきます。④は、段落のインデントは「タブ」キーの手入力を使うため設定を外しておきます。なお、自動インデントでも作業は可能ですが、第1段落目にはインデントを入れませんので、その設定に手間がかかってしまいます。インデントする行頭は「タブ」の利用をおすすめします。

## Word 原稿を流し込む前に

前述のように不要な属性が入らないように原稿作成をしてもらった場合でも、流し込みの前に下記について確認しておく、作業が効率的になります。

1. 和文文字や全角スペースが混じっていないか、約物が和文全角文字になっていないか確認します。

まず、原稿全体を「すべてを選択」し、「ツール」→「言語の選択」を開きます。最初に一度「日本語」を選択し「OK」をします。そのあと、再度「すべてを選択」し、該当する言語を選択します。



その後、「検索と置換」で、オプションの「日本語あいまい検索」のチェックをはずし、検索書式から「言語」を選択します。ここで「日本語」を選択し、検索をします。和文フォントが混じっていれば修正をします。

2. 次に、原稿に含まれている属性の確認をします。欧文組版に関する属性は「イタリック」「ボールド」「ボールドイタリック」「小型大文字 (Small Caps)」です。「検索と置換」の検索書式「フォント」を開き、該当箇所チェックを入れて、検索をします。一括検索をして、それぞれマーカー色付けをして保存しておく、あとで確認をするときに便利です。

## 組版の前に編集サイドに確認

実際に欧文組版の作業に入る前に、原稿の管理をしている担当者（編集者、翻訳者など）に、下記について必ず確認をしておきましょう。

1. 言語は何か——英語ひとつとっても、イギリス英語とアメリカ英語では、引用符の使い方が異なり、単語のスペルが違う場合もあります。アメリカ英語で作成する予定でも翻訳をイギリス人が担当していた場合、原稿にイギリス英語の表記が混在していることがよくあります。ドイツ語を母国語とする国もいくつかありますので、どこの国の読者向けのドイツ語なのかをしっかりと確認し、原稿の原文がその言語の基本に沿って編集されているか確認しましょう。その確認を怠ってしまい、2校、3校で言語が違うことがわかると、無駄な修正作業を大量にすることになってしまいます。

2. 組版ルールに精通しているか——担当者がその言語の組版ルールに精通しているか、または精通している者による校正が入るか、原稿は一度精通している者の目を通していただくことは組版者にとって重要なことです。このような状況のないまま依頼を受けた場合、組版ルールはすべて組版者の力量次第ということになってしまいます。日本から海外、または、日本在住の海外の人々に情報を発信するのであれば、その言語に精通する者が必ず必要である、ということを担当者と確認しましょう。

日本発信の欧文組版に初歩的な組版の間違いが多く見られるのは、組版者の責任だけではなく、仕事を発注する側にも責任があります。実際の現場ではクライアントに対しなかなか伝えづらいことではありますが、「何がこの仕事に必要なのか」を伝えるのも組版者の大切な役目です。

## 日本語版 InDesign の欧文組版

日本語版 InDesign で欧文組版をする場合、最初知ってほしいことは、「日本語組版」専用の設定は欧文組版と相性が悪い、ということです。この「日本語組版の設定」を解除できれば、スムーズな欧文組版が可能になります。英語版と日本語版 InDesign の文字パネルと段落パネルを比較してみましょう。

### 段落パネル

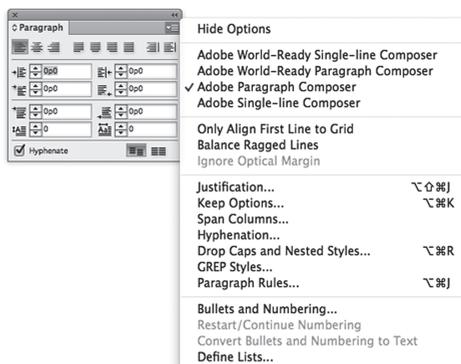
右図を見てください。日本語版の段落パネルには、英語版と同じ機能のほかに、青枠で囲んでいる日本語組版専用の機能が搭載されています。これらが欧文組版に働いてしまうと、「アポストロフィで泣き別れ」「不自然なレタースペース」など日本独自(?)の不自然な組版になってしまいます。

この日本語組版専用機能をオフにするためには、「欧文コンポーザー」を選択します。欧文コンポーザーを選択すると同時に、青枠の日本語組版機能はオフになります。たとえばパネル上の「行送りの基準位置」が「仮想ボディの上／右」にチェックされていたとしても、実際には「欧文ベースライン」の挙動になります。欧文コンポーザーの「単数行」「段落」のどちらを選択するかは、完全データ入稿であり、再校は入稿と同じ組版者が作業するのであれば「欧文段落コンポーザー」をおすすめします。前述したように、欧文組版は「行単位」ではなく「段落単位」で組版を考えると、単語間の白み調整がしやすいからです。「欧文段落コンポーザー」は、InDesign の自動計算により、単語間をほどよい白みに近づけてくれます。使い慣れないと行送りの変化にとまどうかもしれませんが、慣れてしまえば、白み調整の強い味方になってくれます。

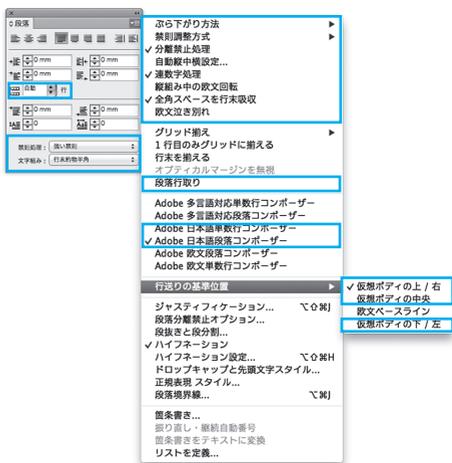
### 文字パネル

段落パネル同様に日本語版文字パネルには、欧

### 英語版 InDesign 「段落パネル」



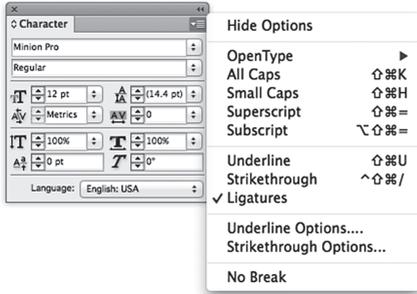
### 日本語版 InDesign 「段落パネル」



文組版に不要な機能が搭載されています(右ページ・青枠)。この機能は段落パネルで「欧文コンポーザー」を選択した時点でオフになり、「文字揃え」の位置は「欧文ベースライン」になります。

流し込んだテキストには、文字パネルの「言語」で必ず目的の言語を選択しておきます。これは、ハイフネーション、引用符、スペルチェック機能に影響します。せっかくハイフネーションの設定をしても、言語が日本語になっていると、ハイフネーション辞書とは連動せず、正しくハイフネーションされません。また、欧文書

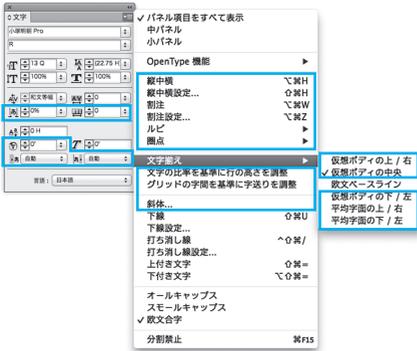
## 英語版 InDesign 「文字パネル」



することで、質のよいフォントの要であるペアカーニングを使って組版することができます。

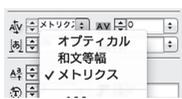
「オプティカル」は、アドビ システムズ独自の文字間調整機能で、基本的には「均等にきれいに」並ぶように調整されます。ですので、URL、郵便番号や電話番号など均一に並んだほうが可読性が上がるものに対して使うと効果的です。本文組版にオプティカルを選択してしまうと、文字の並びが均等になってしまうため、単語を構成する文字の並びのリズムが悪くなってしまう、可読性を損ねてしまいます。

## 日本語版 InDesign 「文字パネル」



体によっては、言語がラテン文字圏の言語以外(たとえば日本語)が選択されていると、OpenType 機能が使えない場合があります。

もうひとつ文字パネルで重要なポイントがあります。



「カーニング」の設定です。カーニングには「和文等幅」「オプティカル」「メトリクス」の3つがあります。

欧文組版では、必ず「メトリクス」を選択します。欧文書体には、文字の組合せに合わせて適切な字詰めをするためのペアカーニングが設定されています。「メトリクス」を選択することで、このペアカーニングが有効にすることができます。

プロフェッショナルとして欧文組版するには質のよいフォントを使うことは必須です。このメトリクスを選択

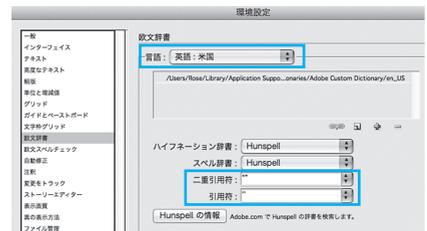
「和文等幅」は、和文は「ベタ組み」、欧文は「メトリクス」になります。欧文がメトリクスなら「和文等幅」でもよいのでは、と思われるかもしれませんが、書体によっては、「和文等幅」ではペアカーニングが正しく機能しない、または OpenType 機能が正しく機能しない場合があります。そのような書体の不具合を避けるためにも、欧文組版では「メトリクス」を選択します。

## 環境設定

続いて環境設定を欧文組版用に設定します。「テキスト」のメニューでは、流し込んだテキストの引用符が正しい引用符になるように(半角引用符 ' ' にならないよう)、「英文引用符の使用」をチェックします。



次に、「欧文辞書」の言語を該当言語に変更し、その下の「二重引用符」「引用符」を該当言語で使用する記号に変更します。

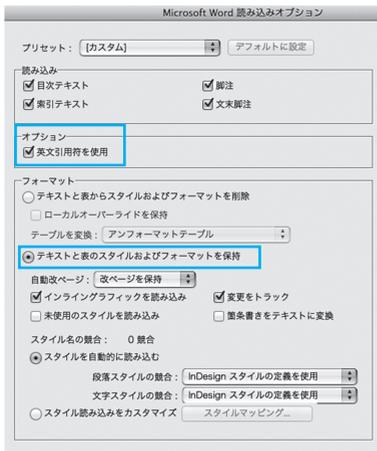


## 実際に流し込みをする

それでは、実際に流し込みをしてみましょう。欧文組版の場合は、短文でない限り、コピー＆ペーストではなく「配置」機能による流し込みをします。

1. ワード・RTFからの流し込み——「コマンド+D」または「ファイル」→「配置」を選択します。ファイル選択のウィンドウが表示されますので、「読み込みオプションを表示」にチェックを入れ、原稿ファイルを選択します。

「読み込みオプション」が表示されたら、「英文引用符を使用」にチェックを入れます。原稿のイタリックなどの属性を活かす場合は「テキストと表のスタイルおよびフォーマットを保持」にチェックを入れて流し込みをします。

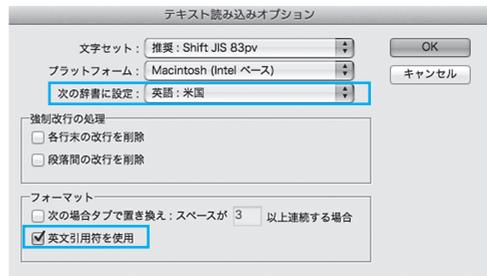


実際に流し込みをした後、「フォント検索」や「検索と置換」を使い、イタリックやSmall Capsなどの属性を確認しながら、該当する書体に変更をします。

フォントの変更が終わったら、テキストを「すべて選択」し、段落パネルから「コンポーザー」の設定、文字パネルから「言語」の設定、カーニングを「メトリクス」に設定します。また、不要な段落スタイル、文字スタイルがかかってしまっている場合は、「スタイルとのリ

ンクを切断」しておきます。全体の文字のポイントサイズ、行間、インデント用のタブ設定をします。

2. テキストファイルからの流し込み——テキストファイルからの流し込みでは、「英文引用符を使用」にチェックを入れ、該当する言語の辞書を選択します。



## ハイフネーションの設定

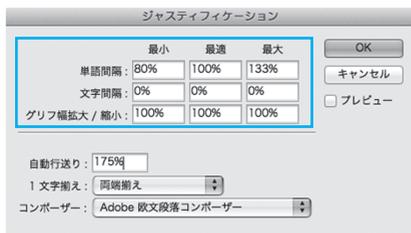
フォント属性関連の整理が終わり、基本設定が済んだら、次にハイフネーションの設定をします。前述したハイフネーションの7つのポイントについて、下記の1～7の箇所を設定をします(丸数字で表示しました)。



## ジャスティフィケーションの設定

次にジャスティフィケーションの設定をします。「単語間隔」から見てみましょう。段落の最終行の単語間隔とそれ以外の単語間隔のバランスがなるべく近くなるように数値を設定していきます。単語間隔は0%～1,000%の範囲で設定可能です。最適値は70%～140%を目安にし、最小値と最大値は最適値の±5～20%を目安に調整していくとよいでしょう。

続いて「文字間隔」です。文字間隔は、特に気



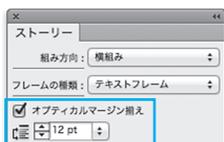
にならない場合は0%でかまいません。ただし、使用する文字のサイズや行間により、文字間隔が狭すぎたり広すぎたり感じる場合は調整をします。文字パネルのトラッキングでこの調整を行なう方も多いと思いますが、全体の組版に関わる場所は、ジャスティフィケーションで設定し、その先の微調整をトラッキングですると効率的です。文字間隔は-100% ~ +500%の範囲で設定可能です。最適値は-6% ~ +7%の範囲を目安にし、最小値と最大値は最適値の±1~5%を目安に調整するとよいでしょう。文字間隔を開く調整をする場合、欧文合字が外れてしまう境界ポイントがあります。その境界値を見極めて設定する必要があります。

「グリフ幅拡大 / 縮小」については、拡大 / 縮小比率の割合は文字パネルの「水平比率」と同じです。こう考えるとグリフの拡大・縮小を嫌う方もいらっしゃると思いますが、単語間の白みの調整がうまくいかない場合、最適値100%に対して±3%の範囲で調整してみてください。単語間の白みによるリバーが気になる場合には有効に働きます。ジャスティフィケーションの設定では、使用する書体本来の単語 / 文字間隔の雰囲気をくずさないことが大切です。

## ハンギング

ハンギング設定をしたい場合は、「ストーリー」パネルの「オプティカルマー

ジン揃え」を使います。「オプティカルマー



ジン揃え」は段落単位

ではなく「ストーリー」単位、つまりテキストが連結している範囲全体に設定されます。もし、ある段落だけ解除したい場合は、段落パネルのメニュー「オプティカルマー

ジンを無視」を選択します。またフォントサイズは使用しているサイズを入れ、このサイズを変更しながら調整します。

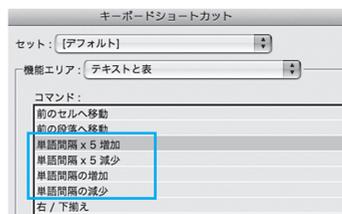
こまでの設定は、テキスト全体に関わるもので、途中で設定を変更すると、組版が大きく変わってしまいます。最初の段階で慎重に設定を確認しましょう。

このあと、テキスト全体の数字を「オールドスタイル数字」にし、見出しなどの設定をします。そして各段落ごと、ページごとに単語間隔の白み、ウイドウとオーファンの調整をしながら、組版をしていくことになります。

## 微調整に便利な単語間隔の自動調整機能

While Tony was eating his supper, and Stealing sugar<sup>1</sup> as opportunity offered, Lily asked him questions that were full of guile, and very deep—for she wanted to trap him into damaging reveal-<sup>2</sup>ments. Like many other simple-hearted souls, it was her pet vanity to believe she was endowed with a talent for dark and mysterious diplomacy, and she loved to contemplazate her most transparent devices as marvels of low cunning.

上記①②のように単語間隔だけを開きたい、または狭めたい場合、トラッキングを使用すると文字間隔も開いてしまいます。キーボードショートカットから「単語間隔の増加 / 減少」コマンドを使用することで、手動で調整をすることができます。この機能はショートカットキーのみで使用可能です。



欧文組版に必要なInDesignの基本設定については以上です。

## 日本語版 Illustrator の欧文組版

日本語版 Illustrator を使って欧文組版をする場合、一番問題となるのは「日本語組版」専用の設定を解除することです。逆にこの問題さえ解決すれば、スムーズな組版が可能になります。

まず、英語版と日本語版の Illustrator の「文字パネル」と「段落パネル」を比較してみましょう。

### 段落パネル

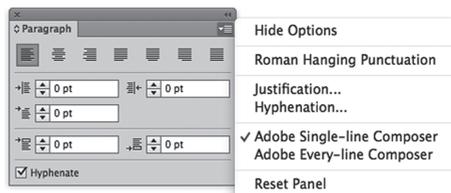
右図を見てください。日本語版の段落パネルには、英語版と同じ機能と青枠で囲んでいる日本語組版用の機能が搭載されていることがわかります。実は日本語版組版で一番わずらわしいのが InDesign と違い「欧文コンポーザー」がないということです。つまり日本語コンポーザーを使いながら欧文組版をしなくてはなりません。

While Tony was eating his supper, and Stealing sugar as opportunity offered, Lily asked him questions that were full of guile, and very deep—for she wanted to trap him into damaging revelations. Like many other simple-hearted souls, it was her pet vanity to believe she was endowed with a talent for dark and mysterious diplomacy, and she loved to contemplate her most transparent devices as marvels of low cunning.

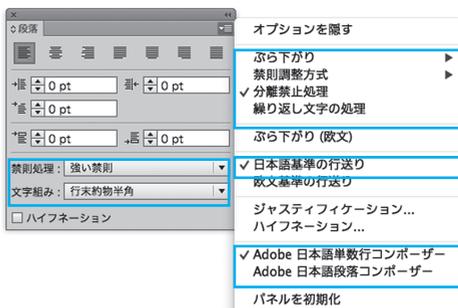
日本語の設定を活かしたまま組版すると、上記2行目のように不自然なレタースペースの空きができてしまいます。これを解除するためには、日本語組版の設定を解除します。つまり、「禁則処理」と「文字組み」を「なし」、行送りは「欧文基準」にします。この設定をすると、レタースペースが縮まりましたね。

While Tony was eating his supper, and Stealing sugar as opportunity offered, Lily asked him questions that were full of guile, and very deep—for she wanted to trap him into damaging revelations. Like many other simple-hearted souls, it was her pet vanity to believe she was endowed with a talent for dark and mysterious diplomacy, and she loved to contemplate her most transparent devices as marvels of low cunning.

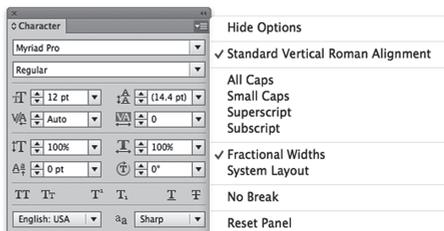
### 英語版 Illustrator 「段落パネル」



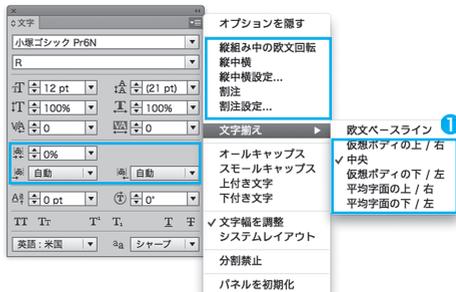
### 日本語版 Illustrator 「段落パネル」



### 英語版 Illustrator 「文字パネル」



### 日本語版 Illustrator 「文字パネル」



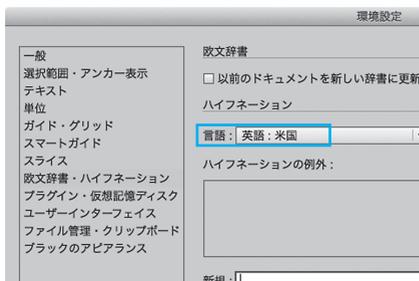
## 文字パネル

日本語版の文字パネルには、英語版の機能のほかに青枠で囲んでいる日本語組版用の機能が搭載されていることがわかります。

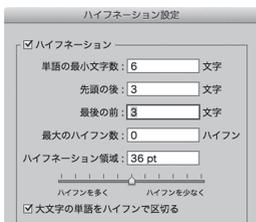
欧文組版をするときには、「文字揃え」は「欧文ベースライン」、「言語」はテキストに該当する言語を設定します。

## ハイフネーション

Illustratorでハイフネーション設定をするには、まず「環境設定」→「欧文辞書・ハイフネーション」で、テキストに該当する言語を選択します。



次に、ハイフネーションの設定をします。前述のハイフネーション設定7項目のうち、5.と6.は設定がありません。

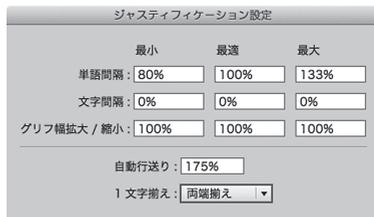


While Tony was eating his supper, and Stealing sugar as opportunity offered, Lily asked him questions that were full of guile, and very deep—for she wanted to trap him into damaging revelations. Like many other simple-hearted souls, it was her pet vanity to believe she was endowed with a talent for dark and mysterious diplomacy, and she loved to contemplate her most transparent devices as marvels of low cunning.

## ジャスティフィケーション

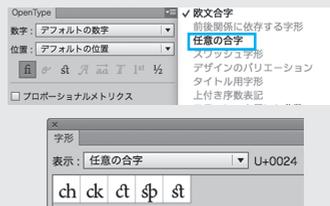
ジャスティフィケーションの設定方法はInDesignの解説を参照してください。

以上の設定をすると、Illustratorでも下記のように読みやすい欧文組版が実現できます。



While Tony was eating his supper, and Stealing sugar as opportunity offered, Lily asked him questions that were full of guile, and very deep—for she wanted to trap him into damaging revelations. Like many other simple-hearted souls, it was her pet vanity to believe she was endowed with a talent for dark and mysterious diplomacy, and she loved to contemplate her most transparent devices as marvels of low cunning.

## 2種類の欧文合字



InDesignの文字パネルメニューやIllustratorのOpenTypeパネルメニューにある「欧文合字」は、14ページで解説したいわゆる「f合字」のことで、欧文組版では必ず合字することされています。これは別に「任意の合字」という機能が、OpenTypeパネルのメニューにあります(InDesignは「文字パネル」→「OpenType機能」のメニュー)。「任意の合字」は組版者の判断で個別に設定していくものです。書体によって用意されているグリフはことなります。上図の「ch」「ck」はドイツ語で使われていました。「ct」「sp」「st」は古い英語で使用されていたものですが、現在では、たとえば、結婚式の招待状や古風な雰囲気を出したいときに使われます。

# 欧文書体の選び方

イタリックの有無や、  
 必要なグリフの有無を確認  
 そして質のよい書体を選ぶ

欧文組版に使う書体を選ぶ場合、数行程度のキヤッチコピーやディスプレイ用であれば、文字のデザインだけを優先して選んでも、手で文字／単語間隔を調整すれば問題はないでしょう。しかし、本文組みの場合、効率的なオペレーションを考慮する必要があるため、これから組もうとしているテキストがどのようなものかを把握して選択する必要があります。

たとえば、イタリック体を使うべき箇所があるなら、ローマン体のほかにイタリック体が用意されている書体を選ばなくてはいけません。「東京」という言葉を「Tokyo」ではなく「Tōkyō」と表記するルールなら「ō」のグリフ(マクロン)がない書体では正しく組むこ

とができません。英語以外の言語で、その言語特有のアクセント記号付き文字が必要な場合は、その文字を含む書体が必要です。また、強調などのために文字を太くする処理が考えられる場合は、太いウエイトが用意されているか、確認が必要です。

これらの条件を満たしているうえで、さらに大切な選定条件は、その書体が「質のよい書体」であるかどうかです。確認するためには、実際にテキストの流し込んでみて、レタースペースにおかしなところがないかみてみます。どこを見ればよいかわからない場合は、「LA」「To」「Tr」「Ta」「Tu」「Te」「Ty」「Wa」「We」「Wo」「Ya」「Yo」を含む単語で、レタースペースが調整されているかを確認し、また「P.M.」「AWAY」などの大文字だけの単語で確認をするのもひとつの手段です。レタースペースが不自然な場合、本文に使うべきかどうかを慎重に検討する必要があります。

## Typography Typography

本文に使用する欧文書体を選ぶには、使用する書体がイタリック体を持っていることがひとつの条件になります。

Tokyo, Trajan, Take,  
 Typography, Yokohama  
 Tokyo, Trajan, Take,  
 Typography, Yokohama

良い書体を見分けるひとつの目安として、レタースペースがきちんと設定されているかどうかに注目します。

## Design Design Design Design

ウエイトバリエーションがある書体なら、本文から見出しまで同一のファミリーで組むことができます。

flower waffle fjord  
 ä ö ë à á â ç ş ā ē ī ō ū  
 ă ñ ą å ě è ø ł ¼ ½ ¾

フォントによって、合字(リガチャ)やアクセント記号(ダイアクリティカルマーク)付き文字、分数などのグリフの有無が異なります。組むテキストに足る文字があるか、確認をしましょう。

# 欧文組版の確認リスト

## チェックリストで確認してみよう

下記のリストを使って、最初に組版設定するときと、組版が終わったときに、設定の確認をしてみましょう。

なお、これらは最低限確認しておきたいことで、これ

をクリアしたから欧文組版が完璧というわけではありません。その先にある、読み手により配慮した質のよい組版を目指していきましょう。

| チェック項目 (アプリケーション)                                  |
|--|
| <input type="checkbox"/> 欧文コンポーザーを使用しているか          |
| <input type="checkbox"/> テキストの言語は文字パネルで正しく設定されているか |
| <input type="checkbox"/> 本文のカーニングは「メトリクス」に設定されているか |

| チェック項目 (組版)   |
|---|
| <input type="checkbox"/> 言語独自のグリフを持つ書体を選択したか                    |
| <input type="checkbox"/> 和文約物やスペースがまじっていないか                     |
| <input type="checkbox"/> 単語間のスペースは1つになっているか                     |
| <input type="checkbox"/> ハイフネーションをしているか                         |
| <input type="checkbox"/> 行末の確認をして、固有名詞が正しくハイフネーションされているか        |
| <input type="checkbox"/> 「Japanese」のハイフネーションは適切か                |
| <input type="checkbox"/> ハイフネーションが3行より多く続いているか                  |
| <input type="checkbox"/> ジャスティフィケーション設定は適切か                     |
| <input type="checkbox"/> 微調整で使ったトラッキングでレタースペースがキツすぎ、またはユルすぎでないか |
| <input type="checkbox"/> イタリックがある場合、正しいイタリック書体を使用しているか          |
| <input type="checkbox"/> イタリックの使い方は正しいか                         |
| <input type="checkbox"/> 欧文合字がはずれていないか                          |
| <input type="checkbox"/> 組幅は長すぎないか                              |

| チェック項目 (組版)   |
|---|
| <input type="checkbox"/> レタースペースのアキすぎはないか                               |
| <input type="checkbox"/> インデントの幅は適切か                                    |
| <input type="checkbox"/> 本文中にAll Capsで強調しすぎた箇所はないか                      |
| <input type="checkbox"/> Small Capsがある場合、正しいSmall Capsのグリフを使用しているか      |
| <input type="checkbox"/> 本文中の数字は、オールドスタイル数字になっているか                      |
| <input type="checkbox"/> 省略を意味するアポストロフィが逆向きになっていないか                     |
| <input type="checkbox"/> 言語にあった正しい引用符を使用しているか                           |
| <input type="checkbox"/> 正しい引用符を使っているか(まねけ引用符を使ってしまっていないか)              |
| <input type="checkbox"/> 「〜」に相当する記号がEnダッシュになっているか(ハイフンやチルドになっていないか)     |
| <input type="checkbox"/> Emダッシュを正しく使用しているか(--ハイフンで代用したままになっていないか)       |
| <input type="checkbox"/> May 31 / Chapter 3などのようにまとまてみせるべきところが泣き別れていないか |
| <input type="checkbox"/> 脚注がある場合、組幅が長すぎないか                              |
| <input type="checkbox"/> ワードスペースにバラツキがないか、白みのリバーができていないか                |
| <input type="checkbox"/> ラグ組みの行末の白みは適切か                                 |
| <input type="checkbox"/> ウイドウ、オーファンの適切な処理をしたか                           |

Ag5

# ClearTone SG

言語：ラテン文字    フォントメーカー名：モリサワ

フォントメニュー名：MO ClearTone SG Light

文字セット：Adobe Latin 1

「ClearTone SG」は、新ゴ用に設計された専用の欧文書体です。ウエイトは新ゴに合わせて8つが用意されており、たとえば、「新ゴ EL」には「ClearTone SG ExtraLight」、「新ゴ M」には「ClearTone SG Medium」が対応しています。

- ExtraLight ABCDEFG0123!?!&@
- Light ABCDEFG0123!?!&@
- Regular ABCDEFG0123!?!&@
- Medium ABCDEFG0123!?!&@
- DemiBold ABCDEFG0123!?!&@
- Bold ABCDEFG0123!?!&@
- Heavy ABCDEFG0123!?!&@
- Ultra ABCDEFG0123!?!&@

ABCDEFGHIJKLMN

OPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmn

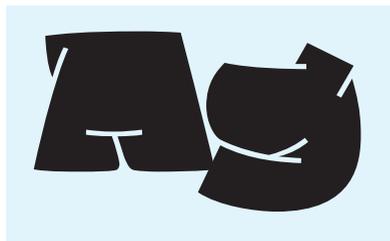
opqrstuvwxyz

0123456789!?!;:.,-\_

“ ” ‘ ’ « » ( ) [ ] - \_ — & @

¥ \$ € ¢ £ fi fl ffff if fl fj \* † ‡ /

Design & Typography



# Rubberblade

言語：ラテン文字    フォントメーカー名：モリサワ

フォントメニュー名：MO Rubberblade Ultra

文字セット：Adobe Latin 1

文字をそれと認識できる限界まで画線を押し出した、オリジナリティあふれるデザインが特徴です。「ブラックレター体とグロテスク体の特徴を融合させた」というその文字の表情からは、不思議な温度を感じることができ、躍動感に満ちた動きのある線の運びからは、身体性を見出すことができます。デザインバリエーションと欧文合字(リガチャ)が多数設定されているのもこの書体の大きな特徴です。

Ultra **ABCDEFGHIJKLM  
0123456789 !?@**

Ultratailc **ABCDEFGHIJKLM  
0123456789 !?@**



**Design & Typography**

# Ag5

## FB Agency

言語：ラテン文字    フォントメーカー名：Font Bureau

フォントメニュー名：MP FBAgency Regular

文字セット：Adobe Latin 1

「FB Agency」は、かつてAgency Gothicとして存在した活字書体のリバイバルで、ディスプレイ用のサンセリフ書体です。縦長で四角く、抑揚のないこの書体はもとも大字だけの書体でしたが、小文字や太いウエイトを付け加えられ、デジタル書体として生まれ変わると、この書体は瞬く間にヒットしました。ロゴや、雑誌や広告の見出しなどに向いています。銀行、法律関係など高い信頼性が求められる分野だけでなく、テクノロジーやエレクトロニクス産業でも人気があります。

Regular    ABCDEFGHIJKLMN  
0123456789 !?@

Bold    ABCDEFGHIJKLMN  
0123456789 !?@

ABCDEFGHIJKLMN

OPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmn

opqrstuvwxyz

0123456789 !?i; . , : ; " " ' "

« » ( ) [ ] - - - & @ ¥ \$ € ¢ £

ff ffff \* † ‡ / & A M Y

# Design & Typography

Ag5

## FB Agenda

Medium Condensed

ABCDEFGHIJKLMN  
0123456789 !?&@

Bold Condensed

ABCDEFGHIJKLMN  
0123456789 !?&@

言語: ラテン文字 フォントメーカー名: Font Bureau

フォントメニュー名: MP FB Agenda Medium Cond

文字セット: Adobe Latin 1

「FB Agenda」は、ヒューマニスト・サンセリフのジャンルに入る書体で、ロンドン地下鉄のために作られたジョンストン書体の影響を受け、デザインされました。その特徴は、開き気味の「S」や「s」、堂々とした「R」や「M」、小文字の「a」や「e」「i」などに表れています。今回の幅の狭いバージョンは、本や雑誌、新聞などの見出しやタイトルに特によくあっています。また、「FB Agenda」は、あたたかくフレンドリーな雰囲気があることから、ライフスタイル、エンタテインメント、食品や飲料、ファッション産業で好まれて使われています。

ABCDEFGHIJKLMN

OPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmn

opqrstuvwxyz

0123456789 !?i¿ . , : ; “ ” ‘ ’

« » ( ) [ ] - - — &amp; @ ¥ \$ € ¢ £

fi fl fff fi fl \* † ‡ /

Design &amp; Typography

Ag5

# FB Benton Sans

言語: ラテン文字    フォントメーカー名: Font Bureau

フォントメニュー名: MP FFBentonSans Book

文字セット: Adobe Latin 1

「FB Benton Sans」は、News Gothicを発展して作られたグロテスク書体です。斜めにかットされた「C」や「S」、短めの「E」の真ん中のアーム、脚の真っ直ぐな「R」、二階建ての「g」など、全体のわずかな抑揚が特徴です。書体ファミリーとしては、News Gothicよりもウエイトや幅の展開がよりスムーズかつ豊富で、使い勝手のよいものになっています。新聞や雑誌から、広告や企業関連などさまざまな場面に適した用途の広い書体です。小さいサイズにも向いていますし、ニュートラルな書体なので、いろいろな書体と組合せて使うことができます。

Book    **ABCDEFGHIJKLMN  
0123456789 !?&@**

Regular    **ABCDEFGHIJKLMN  
0123456789 !?&@**

Medium    **ABCDEFGHIJKLMN  
0123456789 !?&@**

Bold    **ABCDEFGHIJKLMN  
0123456789 !?&@**

ABCDEFGHIJKLMN

OPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmn

opqrstuvwxyz

0123456789!?!¿.,:;

“ ” „ ‘ ’ « » ( ) [ ] - - - - & @

¥ \$ € ¢ £ fi fl ffffiffi \* † ‡ /

## Design & Typography

Ag5

## FB Berlin Sans

言語：ラテン文字 フォントメーカー名：Font Bureau

フォントメニュー名：MP FBBerlinSans Roman

文字セット：Adobe Latin 1

「FB Berlin Sans」は、1920年代のNegroという書体をもとに作られたサンセリフ書体です。この書体はもともとは1ウエイトでしたがリデザインされ拡張されました（今回はその中でRomanをご提供します）。直線が少なく、角がソフトになっているのが特徴です。大文字の多くや、小文字のaやgなどに異体字が用意されているほか、多彩な合字が収録されています。食品パッケージからアートや映画のポスター、子供向けの本まで、心地よく、感じのいいグラフィックスタイルが求められる場面で広く使われています。

Roman **ABCDEFGHIJKLMN**  
**0123456789 !?&@**

ABCDEFGHIJKLMN

OPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmn

opqrstuvwxyz

0123456789!?.,:;"'„

« » ( ) [ ] - - - &amp; @ ¥ \$ € ¢ £

fi fffffiff \* † ‡ /

Design &amp; Typography

Ag5

# FB Californian Text

言語: ラテン文字    フォントメーカー名: Font Bureau

フォントメニュー名: MP FBCalifornianText Roman

文字セット: Adobe Latin 1

「FB Californian Text」は、カリグラフィックな要素の残るセリフ書体です。Goudy Old Styleという書体でも有名なタイプデザイナー、フレデリック・W・ガウディのCalifornia Old Styleという書体のリバイバルです。大文字の「A」のトップのところが右に突き出しているところや、傾いた小文字の「e」が特徴です。ディセンダの長さの違う「J」や「g」「j」などの異体字、「st」や「ct」の合字を備えています。本や雑誌、企業レポートなど、長文のテキストに適しています。

Roman    ABCDEFGHIJKLMN  
0123456789 !?&@

Italic    ABCDEFGHIJKLMN  
0123456789 !?&@

ABCDEFGHIJKLMN

OPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmn

opqrstuvwxyz

0123456789!?!;.,:;“ ” „ ‘ ’

« » ( ) [ ] - - — & @ ¥ \$ € ¢ £

fiflfffffl \*†‡/

## Design & Typography

Ag5

## FB Condor

言語：ラテン文字 フォントメーカー名：Font Bureau

フォントメニュー名：MP FBCondor Regular

文字セット：Adobe Latin 1

「FB Condor」は、スクウェアで、コントラストのあるサンセリフ書体です。1920年代や30年代の商業レタリングや歴史的建造物に刺激され、デザインされました。ハイ・コントラストなスタイルと、フラット気味にしたカーブや開口部を広く開けるなどの合理的な構造とが融合し、わずかにアールデコな雰囲気を持った書体となっています。Regularを大文字小文字で組んでも魅力的ですが、大文字だけで組めば記念碑のような優雅さが出ます。ファッションや宝飾類、化粧品などによくあいます。Boldは、力強さがあるので、スポーツや車関係のものに向くでしょう。

Regular ABCDEFGHIJKLMN  
0123456789 !?&@

Bold ABCDEFGHIJKLMN  
0123456789 !?&@

ABCDEFGHIJKLMN  
OPQRSTUVWXYZ  
abcdefghijklmn  
opqrstuvwxyz  
0123456789 !?¡¢£„•:;“”””  
« » ( ) [ ] --- — & @ ¥ \$ € ¢ £  
fi fl ffffiffi \* † ‡ /

# Design & Typography

# Ag5

## FB Giza

One Three

**ABCDEFGHIJKLMN  
0123456789 !?&@**

言語: ラテン文字    フォントメーカー名: Font Bureau

フォントメニュー名: MP FBGiza One Three

文字セット: Adobe Latin 1

「FB Giza」は、厚いセリフを持つ、太さのあるスラブセリフ書体です。19世紀のヴィクトリア時代、華やかで派手な書体が入り乱れる時代、極太のモダン・セリフ書体や、太いエジプシャン、影や模様がついた派手な装飾をほどこされた書体、それまでになかった奇妙なレターフォームを持った書体が多くありました。Gizaはその時代の書体をベースに作られました。そのため、このような派手なデザインになっています。わずかにノスタルジックで古風とさえも言える印象を与えるかもしれませんが、必ず注意を惹きつける書体です。大きなサイズで使うのが効果的です。

**ABCDEFGHIJKLMN**

**OPQRSTUVWXYZ**

**abcdefghijklmn**

**opqrstuvwxyz**

**0123456789!?:;.,:;“”„“”**

**« » ( ) [ ] - - — & @ ¥ \$ € ¢ £**

**fiflfffffl \*†\* /**

# Design & Typography

Ag5

## FB Ibis Text

言語：ラテン文字 フォントメーカー名：Font Bureau

フォントメニュー名：MP FB Ibis Text Regular

文字セット：Adobe Latin 1

セリフ書体の「FB Ibis Text」は、厚みのあるセリフが特徴で、スラブセリフ書体とも言えますが、よくある全体が均一に太いスラブセリフ書体とは違い、抑揚のある表情を持っています。R、a、uの異体字、通常のものより大きめのデザインの小文字・キャップス、3種類の数字、スラッシュ付きなどを用意しています。雑誌の本文をはじめ、科学論文や報道から教科書や料理のレシピ本まで、いろいろな場面に幅広く活躍する書体です。

Regular **ABCDEFGHIJKLMN**  
**0123456789 !?&@**

Regular Italic **ABCDEFGHIJKLMN**  
**0123456789 !?&@**

ABCDEFGHIJKLMN

OPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmn

opqrstuvwxyz

0123456789! ? ; : ;

“ ” „ ‘ ’ « » ( ) [ ] --- — &amp; @

¥ \$ € ¢ £ fi fl fff ffff l \* † ‡ /

Design &amp; Typography



# FB Miller Display

言語: ラテン文字    フォントメーカー名: Font Bureau

フォントメニュー名: MP FBMillerDisplay Roman

文字セット: Adobe Latin 1

「FB Miller Display」は、いわゆるスコッチ・ローマンというジャンルに入るセリフ書体です。スコッチ・ローマンは、スコットランド起源の書体のジャンルで、19世紀のアメリカで広く使われていました。スコッチ・ローマンは、それより前のオールドスタイルより合理的で古くさくなく、機械的な要素も目立ちません。今回収録の「FB Miller Display」は比較的大きなサイズでの使用を想定されています。Lightは、さらめのような優雅さがあり、ファッションや美容、ライフスタイルなどの分野で好まれています。一方、Boldは、力強さがあるので、ニュースやビジネス、金融関係などで好んで使われます。

Light    ABCDEFGHIJKLMNOP  
          0123456789 !?&@

Roman    ABCDEFGHIJKLMNOP  
          0123456789 !?&@

Semibold    ABCDEFGHIJKLMNOP  
              0123456789 !?&@

Bold        ABCDEFGHIJKLMNOP  
              0123456789 !?&@

ABCDEFGHIJKLMN  
OPQRSTUVWXYZ  
abcdefghijklmn  
opqrstuvwxyz  
0123456789!?!¿.,,:;“”„  
«»()[]\_--—&@¥\$€¢£  
fiflfffffl \*†‡/

## Design & Typography

Ag5

# FB Poynter Oldstyle Text

言語：ラテン文字 フォントメーカー名：Font Bureau

フォントメニュー名：MP FB Poynter OS Text Roman

文字セット：Adobe Latin 1

「FB Poynter Oldstyle Text」は、本文用のセリフ書体です。もともとは、省スペースで組むことができ、かつ、読みやすく、さまざまな印刷の状況でも耐えうる書体をという要求に  
 応えるために作られました。xハイトが高めで、やや黒みがあり、かつ、エレガントさをも兼ね  
 備えていて、静かで読みやすいというのが特徴の書体です。今回のバージョンには、スモ  
 ールキャップスのほか、オールドスタイル数字なども入っています。もともとは新聞の本文  
 のために作られましたが、本や雑誌の本文をはじめ、さまざまな用途にも向く書体です。

Roman **ABCDEFGHIJKLMN**  
**0123456789 !?&@**

Italic *ABCDEFGHIJKLMN*  
*0123456789 !?&@*

ABCDEFGHIJKLMN

OPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmn

opqrstuvwxyz

0123456789!?!;.,:;“ ” „ ’

«»()[]--—&amp;@¥\$€¢£

fi fl fff fffl \* † ‡ /

## Design & Typography





Ag5

# FB Vonness

言語：ラテン文字    フォントメーカー名：Font Bureau

フォントメニュー名：MP FBVonness Light

文字セット：Adobe Latin 1

Light    ABCDEFGHIJKLMNOP  
 0123456789 !?&@  
 Book    ABCDEFGHIJKLMNOP  
 0123456789 !?&@  
 Medium    ABCDEFGHIJKLMNOP  
 0123456789 !?&@  
 Bold    ABCDEFGHIJKLMNOP  
 0123456789 !?&@

「FB Vonness」は、1900年代初頭にヨーロッパで広く使われた、いわゆるグロテスクのジャンルに入る書体です。核となるウエイトは、Venusという有名な書体が大きなベースになっており、その大きな特徴である腰高の「R」や「G」「K」が踏襲されていますが、「E」や「F」の一番上のアームや「E」の一番下のアームなどが斜めにカットされているのがこの書体ならではの特徴です。微妙な変化を持った曲線も相まって、大きな見出しやタイトルで使うとより個性的な演出が可能です。「FB Vonness」は、新聞や雑誌だけでなく企業のブランディングなどでも使われています。

ABCDEFGHIJKLMN  
 OPQRSTUVWXYZ  
 abcdefghijklmn  
 opqrstuvwxyz  
 0123456789!?!;.,:;  
 “” „ “ « » ( ) [ ] --- & @  
 ¥ \$ € ¢ £ f i f l f f f f f f f f l \* † ‡ /

## Design & Typography

Ag5

## RS Skolar PE

言語：ラテン文字（キリル文字、ギリシア文字を含む） フォントメーカー名：Rosetta

フォントメニュー名：MP RSSkolar PE

文字セット：Adobe Latin 1

「Skolar PE」はラテン文字のほか、キリル文字とギリシア文字に使用される文字も収録しています。キリル文字は東スラヴを中心に多くの言語で使用されている文字です。「Skolar PE」は、ロシア語だけでなく、独自の文字が追加されているモンゴル語や、カザフ語、セルビア語、ブルガリア語などにも対応しており、いずれもラテン文字とも調和のとれたデザインを備えています。ギリシア文字は、ギリシア語で使われる文字です。「Skolar PE」のギリシア文字は、学術的な作品群を現代的に解釈して設計されており、動きのある、流れるような文字のデザインが特徴です。また、単一アクセントを持つ文字と、複数アクセントを持つ文字、両方のグリフを持っています。

Regular ABCDEFGHIJKLMN

0123456789 !?&amp;@

Semibold ABCDEFGHIJKLMN

0123456789 !?&amp;@

Bold ABCDEFGHIJKLMN

0123456789 !?&amp;@

ABCDEFGHIJKLMN

OPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmn

opqrstuvwxyz

0123456789! ? ; " " " " " " " "

« » ( ) [ ] -- — &amp; @ ¥ \$ € ¢ £

fi fl ffff ifl \* † ‡ /

Design &amp; Typography

# Ag5

## RS Nassim Latin

言語: ラテン文字    フォントメーカー名: Rosetta

フォントメニュー名: MP RS Nassim Latin

文字セット: Adobe Latin 1

「Nassim」は、ラテン文字とアラビア文字をサポートする書体です。英国放送協会 (BBC) のアラビア語、ヘルシヤ語、ウルドゥー語、パシュトー語や、ボイス・オブ・アメリカ (VOA) のアラビア語の表示に使われており、Webを通して多くの人に読まれている書体と言えます。設計の段階からラテン文字とアラビア文字を同期しながらデザインされており、各言語の文字のバランスが整えられているので、ラテン語圏の言語とアラビア語を併記する必要がある場合にも、調和の取れたデザインをすることが可能です。「Nassim」には、ラテン文字を収録した「Nassim Latin」と、アラビア文字を収録した「Nassim Arabic」の2つのバリエーションがあります。

Regular    **ABCDEFGHIJKLMN  
0123456789 !?&@**

Semibold    **ABCDEFGHIJKLMN  
0123456789 !?&@**

Bold    **ABCDEFGHIJKLMN  
0123456789 !?&@**

ABCDEFGHIJKLMN

OPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmn

opqrstuvwxyz

0123456789 !? ; ' " ” ”

« » ( ) [ ] - — — & @ ¥ \$ € ¢ £

fi fl ffff if fl \* † ‡ /

# Design & Typography

Ag5

## RS Arek Latin

言語: ラテン文字 フォントメーカー名: Rosetta

フォントメニュー名: MP RSArek Latin

文字セット: Adobe Latin 1

「Arek」は、ラテン文字とアルメニア文字をサポートする書体です。セリフと終筆部のスタイルは、ラテン文字とアルメニア文字双方でバランスを取りながら調和させており、ラテン文字に設定された適度なxハイトを参考に、アルメニア文字を設計していくことで、文字の縦方向のプロポーションを揃え、文章として組んだときの見た目の印象が近くなるように、調整が施されています。もともと、教科書用に設計された書体のため、「Skolar PE」同様、組版に必要な多くのOpenTypeフューチャーを備えているのも特徴といえるでしょう。「Arek」には、ラテン文字を収録した「Arek Latin」と、アルメニア文字を収録した「Arek Armenian」の2つのバリエーションがあります。

Regular    **ABCDEFGHIJKLMN**  
               **0123456789 !?&@**

Semibold    **ABCDEFGHIJKLMN**  
                **0123456789 !?&@**

Bold         **ABCDEFGHIJKLMN**  
                **0123456789 !?&@**

ABCDEFGHIJKLMN  
 OPQRSTUVWXYZ  
 abcdefghijklmn  
 opqrstuvwxyz  
 0123456789!?.; “ ” ‘ ’  
 « » ( ) [ ] - \_ & @ ¥ \$ € ç £  
 fi fl ffff fl \* † ‡ /

Design &amp; Typography